

令和4年度
小中学生等を対象とする
起業家教育プログラム運営業務委託事業
実施報告書

令和5年3月

株式会社角川アスキー総合研究所

業務実施概要

・ 事業の目的

- ・ 人口減少・超高齢化社会の進展より生じる課題や、気候変動やコロナ禍による社会の大きな変革に対応するには、既存産業からの転換(イノベーション)や、デジタル変革(DX)の必要に迫られている。このためにはイノベーションやDXを行う人材が不可欠だが、一方で、人材の不足が課題となっている。
- ・ そこで、本事業では、小中学生等を対象とし、早期から「社会課題やビジネスに目を向ける意識を醸成する」起業家教育を、横浜市教育委員会との連携により実施する。
- ・ 小中学生等を対象としたキャリア教育やSDGs・イノベーションをテーマとしたワークショップ等を実施することで、社会課題や起業に対する意識の醸成を図り、次世代で活躍できる自在を横浜から輩出することを目的とする。

・ 実施事業

仕様に従い、横浜市内の5つの小中学校に対し、以下を実施した。

1. 起業家教育プログラムモデルプランの策定

横浜市内より募集し採択された5つの学校に対し、アントレプレナーシップ(起業家精神)を育むステップに合わせた起業家教育プログラムを個別に打ち合わせ、導入に向けて支援をした。

2. 起業家教育プログラムを導入する学校への支援

策定したプログラムに従い、学校で実施する際に必要な教材の準備、テーマに沿った外部起業家招聘、教員向け講習、金融機関との調整等を行った。授業は教員が主導したうえで、専門的な知識が必要となる授業においては、金融機関の協力や、専門講師が生徒を指導した。

3. 成果報告会

プログラムを実施した5校から代表チームが2月に開催する成果報告会で取り組み成果を発表し、事業に協力した日本政策金融公庫や教育委員会の方に講評いただくことで、次につなげるヒントを得られるイベントを開催した。

プログラム実施校一覧

- 起業家教育プログラムを実施した学校は以下の通りである。

区名	青葉区	金沢区	栄区	青葉区	保土ヶ谷区
学校名	東市ヶ尾小学校	大道小学校	西本郷中学校	みたけ台中学校	上菅田特別支援学校
住所	〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町519番地	〒236-0035 横浜市金沢区大道2-3-1	〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1丁目29-1	〒227-0047 横浜市青葉区みたけ台30	〒240-0051 横浜市保土ヶ谷区上菅田町462番地
実施学年	6年生	5年生	2年生	2年生	高等部1年～3年生
対象児童数	75名	68名	131人	86名	8名
授業テーマ	市が尾の地域を活かした商品開発	地域の特色をいかしたキャラクターグッズをつくろう。	横浜(栄区)と沖縄(恩納村)とのつながりに関係した商品開発 栄区に沖縄(恩納村)のアンテナショップを開こう	学校の周年記念キャラクターグッズを作ろう	肢体不自由学校の特色を生かしたデザインを活かした商品をつくろう(年賀状+α)

実践事例①東市ヶ尾小学校

- 東市ヶ尾小学校では、3クラスの生徒を対象に、地域の店舗と協力して商品開発等に取り組む想定を立て、地域食材など地域を活かした商品開発を行った。考案した商品はポスター作成し、疑似マネーで販売、決算で振り返りを行った。

●学校実施概要データ

実施学年	6年生
対象児童数	75名
実施時期	2022年9月8日～11月9日
実施時間数	45分×9コマ
テーマ	市が尾の地域を活かした商品開発
顧客想定	6年生及び6年生の保護者
起業家講演	株式会社さくら工房 代表取締役 櫻井友子氏
金融機関	日本政策金融公庫 南関東創業支援センター



写真)本物の金融機関の方へ融資相談をしている様子

●授業計画表

	活動のねらい	活動詳細
1	◎起業について知ろう	株式会社さくら工房 代表取締役 櫻井友子氏講演
2	◎会社をつくろう	学校主導で進行 ・会社づくり ・顧客インタビュー ・商品企画
3	◎市場調査をしよう	
4	◎顧客ニーズから商品を企画しよう	
5	◎事業計画を作ろう	事務局立ち合いで進行 ・事業計画の作り方、指導 ・金融機関への融資相談、融資実行
6	◎融資を受けよう	
7	◎広告活動をしよう	学校主導で進行 ・ポスター制作 ・広告宣伝、販売
8	◎開店準備・販売をしよう。	
9	◎決算をしよう	事務局立ち合いで進行 ・販売結果の振り返り ・今後に向けて
計 9		

実践事例②大道小学校

- 大道小学校では、5年生児童を対象に、地域の特色を生かしたキャラクターグッズを考案した。顧客(5年生及び2年生児童)への市場調査を踏まえ、各社が検討した商品をプロトタイプとしてサンプル品を製造し、疑似マネーで販売。各社の売上結果を振り返り、今後どう本活動を活かせるか、児童一人一人が振り返りを行った。

●学校実施概要データ

実施学年	5年生
対象児童数	68名
実施時期	2022年10月12日～12月8日
実施時間数	45分×12コマ
テーマ	地域の特色をいかしたキャラクターグッズをつくろう
顧客想定	2年生+5年生=126人
起業家講演	株式会社ICON 代表取締役 土屋敏子氏
金融機関	日本政策金融公庫 南関東創業支援センター



写真)各会社で事業計画書を作成している様子

●授業計画表

	活動のねらい	活動詳細
1	◎起業について知ろう	株式会社ICON 代表取締役 土屋敏子氏講演
2	◎会社をつくろう	学校主導で進行 ・会社づくり ・顧客インタビュー ・商品企画
3	◎市場調査をしよう	
4	◎顧客ニーズから商品を企画しよう	
5	◎事業計画を作ろう	事務局立ち合いで進行 ・事業計画の作り方、指導 ・金融機関への融資相談、融資実行 ・サンプル品づくりの材料を仕入れる
6	◎融資を受けよう	
7	◎材料を仕入れよう	
8	◎商品を製造しよう	学校主導で進行 ・サンプル品製造 ・ポスター制作 ・広告宣伝、販売
9	◎広告活動をしよう	
10	◎開店準備・販売をしよう。	
11-1 2	◎決算をしよう	事務局立ち合いで進行 ・販売結果の振り返り ・今後に向けて
計12		

実践事例③西本郷中学校

- 西本郷中学校では、2年生の生徒を対象に、修学旅行で訪れる沖縄県恩納村のアンテナショップを開くことをテーマに、恩納村の魅力をPRできる商品を考案した。顧客(1年生及び2年生生徒)への市場調査を踏まえ、各社が検討した商品をプロトタイプとしてサンプル品を製造し、疑似マネーで販売を行った。各社の売上結果を振り返り、今後どのように本活動を活かせるか、生徒一人一人が振り返りを行った。

●学校実施概要データ

実施学年	中学2年生
対象生徒数	131人
実施時期	2022年11月4日～12月20日
実施時間数	50分×12コマ
テーマ	横浜(栄区)と沖縄(恩納村)とのつながりに関係した商品開発 栄区に沖縄(恩納村)のアンテナショップを開こう
顧客想定	中学1年+2年=計267人
起業家講演	学校が個別に手配し実施
金融機関	日本政策金融公庫 南関東創業支援センター



写真)本物の金融機関の方へ融資相談をしている様子

●授業計画表

	活動のねらい	活動詳細
1	◎起業について知ろう	学校で個別に手配し実施
2	◎会社をつくろう	学校主導で進行 ・会社づくり ・顧客インタビュー ・商品企画
3	◎市場調査をしよう	
4	◎顧客ニーズから商品を企画しよう	
5	◎事業計画を作ろう	事務局立ち合いで進行 ・事業計画の作り方、指導 ・金融機関への融資相談、融資実行 ・サンプル品づくりの材料を仕入れる
6	◎融資を受けよう	
7	◎材料を仕入れよう	
8	◎商品を製造しよう	
9	◎広告活動をしよう	学校主導で進行 ・サンプル品製造 ・ポスター制作 ・広告宣伝、販売
10	◎開店準備・販売をしよう。	
11-1 2	◎決算をしよう	事務局立ち合いで進行 ・販売結果の振り返り ・今後に向けて
計12		

実践事例④みたけ台中学校

- みたけ台中学校では、学校の周年記念としてキャラクターグッズを活用した商品開発に挑戦した。生徒たちが卒業するときにもっと嬉しいものはどんなものか、アンケートなどを交えた市場調査を踏まえ、商品開発事業計画を作成した。

●学校実施概要データ

実施学年	中学2年生
対象生徒数	86名
実施時期	2022年10月18日～12月1日
実施時間数	50分×9コマ
テーマ	学校の周年記念キャラクターグッズを作ろう
顧客想定	2年生86名
起業家講演	ハーチ株式会社 代表取締役 加藤 佑氏
金融機関	日本政策金融公庫 南関東創業支援センター

●授業計画表

	活動のねらい	活動詳細
1	◎起業について知ろう	ハーチ株式会社 代表取締役 加藤 佑氏 講演
2	◎会社をつくろう	学校主導で進行 ・会社づくり ・顧客インタビュー ・商品企画
3	◎市場調査をしよう	
4	◎顧客ニーズから商品を企画しよう	
5	◎事業計画を作ろう	事務局立ち合いで進行 ・事業計画の作り方、指導 ・金融機関への融資相談、融資実行
6	◎融資を受けよう	
7	◎広告活動をしよう	学校主導で進行 ・ポスター制作 ・広告宣伝、販売
8	◎開店準備・販売をしよう。	
9	◎決算をしよう	事務局立ち合いで進行 ・販売結果の振り返り ・今後に向けて
計 9		



写真) 起業家講演を聴講している様子

実践事例⑤上菅田特別支援学校

- 上菅田特別支援学校では、高等部1-3年次にあたる生徒8名が保護者や教職員を対象に、年賀状用デザインを制作しデータ販売するプログラムに取り組んだ。現金で事前注文を受付販売を行ったが、3商品(デザイン)に対する事業計画とその結果について深く学ぶことができるプログラムとなった。

●学校実施概要データ

実施学年	高等部1年～3年
対象生徒数	8名
実施時期	2022年10月18日～12月21日
実施時間数	50分×12時間
テーマ	肢体不自由学校の特色を生かしたデザインを活かした商品をつくろう(年賀状+α)
実施時間	12コマ
顧客想定	生徒153人の保護者+教職員156人=計309人
起業家講演	CHOCO LABO 代表理事(会長) 伊藤 紀幸氏



写真)事業計画作成に際し市場調査で得た情報を確認しながら取り組む様子

●授業計画表

	活動のねらい	活動詳細
1	◎起業について知ろう	CHOCO LABO 代表理事(会長) 伊藤 紀幸氏子氏講演
2	◎会社をつくろう	学校主導で進行 ・会社づくり ・顧客インタビュー ・商品企画
3	◎市場調査をしよう	
4	◎顧客ニーズから商品を企画しよう	
5	◎事業計画を作ろう	事務局立ち合いで進行 ・事業計画の作り方、指導 ・金融機関への融資相談、融資実行
6	◎融資を受けよう	
7	◎広告活動をしよう	学校主導で進行 ・ポスター制作 ・広告宣伝、販売
8	◎販売をしよう。	
9	◎決算をしよう	事務局立ち合いで進行 ・販売結果の振り返り ・今後に向けて
計 9		

成果報告会

- 開催趣旨
 - プログラム参加児童生徒にプレゼンテーションの機会を提供、自分の考えを表現することを体験させる。学習の成果を共有し、それぞれの取組のよさや価値を知り、学びを深めることを目的とする。
- 日時会場
 - 2023年2月24日(金)14:30～16:00
 - 横浜市 市民協働センターAB
- 登壇者
 - 開会挨拶 星崎雅代 氏(横浜市経済局長)
- 司会進行・モデレーター
 - 石井龍生(角川アスキー総合研究所 起業家教育 プログラムディレクター)
- コメンテーター
 - 辻井拓也 氏(株式会社日本政策金融公庫)
 - 本田大亮 氏(横浜市教育委員会事務局)
 - 佐野亜紀子氏(横浜市教育委員会事務局)



写真左)集合写真
写真右)コメンテーター

成果報告会

式次第

	内容
1	開会あいさつ 星崎雅代 氏(横浜市経済局長)
2	プログラムの概要
3	発表・質疑応答①:大道小学校
4	発表・質疑応答②:東市ヶ尾小学校
5	発表・質疑応答③:みたけ台中学校
6	発表・質疑応答④:西本郷中学校
7	発表・質疑応答⑤:上菅田特別支援学校
8	全体講評
9	閉会
10	写真撮影

イベントの様子



写真) 成果報告会は横浜市庁舎1F市民協働センターで開催した



写真) 発表した児童、生徒の集合写真。5校の代表が集った

成果報告会 その他の写真



写真) 大道小学校の代表チームは制作したキャラクターグッズ「どんぐりくん」を持参し発表した



写真) 東市ヶ尾小学校では、プログラム終了後第二章の取り組みとして地域の企業等と商品開発に取り組みその振り返りを発表した



写真) 上菅田特別支援学校では保護者教員向けに年賀状用の素材をCD-ROMで販売。販促CMも会場で上映した



写真) みたけ台中学校の代表チームは、周年記念グッズとしてタオルを提案。予定通り売れなかった理由への考察も発表した

成果報告会 その他の写真



写真)西本郷中学校では恩納村の魅力伝えるグッズを考案。各役割での苦労点を含めた振り返りを発表した



写真)コメンテーターの日本政策金融公庫辻井氏。各校の融資審査にも協力いただいた



写真)コメンテーターの本田大亮氏(横浜市教育委員会事務局)



写真)コメンテーターの佐野亜紀子氏(横浜市教育委員会事務局)